

水害のまちを救った色川三郎兵衛

土浦の水害の歴史と今の防災対策

都和南小 五年 吉田 悠生

沖 理紗子
関 楓月

子ども郷土研究は、調査・研究を通して郷土の歴史や文化について関心を持ち、郷土「つちうら」への理解を深めることを目的に実施しています。今回は33点の応募作品の中から最優秀賞に選ばれた作品(一部省略)をご紹介します。

応募全作品は2月19日(日)まで上高津貝塚ふるさと歴史の広場で展示しています。

☎上高津貝塚ふるさと歴史の広場(☎826・7111)

▼研究の動機

今年は何年にもなく台風が多く、沖縄や九州をはじめ、全国各地で尊い人の命が失われる悲しいニュースを耳にしました。また、茨城県では、昨年の9月に鬼怒川の氾濫によって、私たちの近くの市・常総市では大きな災害にあつたことを覚えています。

私たちは、土浦でも昔のこのような災害が起きた歴史を学んだことを思い出し、その時に土浦の洪水を防ぐためにつくってくれた色川三郎兵衛について、深く調べたいと思い研究を始めました。

▼研究の目的

- ・土浦市の洪水の歴史を調べる。
- ・色川三郎兵衛の人物像を調べる。
- ・今に残る色川三郎兵衛のおもかげをたどる。
- ・現在の霞ヶ浦や桜川の水害対策を調べる。

▼研究の方法

- ・土浦市立博物館で調べる。
- ・小学校社会科副読本「わたしたちの茨城県」、土浦市社会科副読本「わたしたちの土浦市」で調べる。
- ・今に残る色川三郎兵衛の記念碑などを調べる。

▼研究の内容

土浦市の洪水の歴史
霞ヶ浦の西岸にあり、桜川の河口の低地に中心市街地を持つ土浦は、霞ヶ浦の逆水や桜川の氾濫による洪水におそわれていました。

洪水が起こる度に土浦の人々は堤防の強化や水門の整備など繰り返ししてきましたが、昭和13年の大洪水は、戦中の土浦に大きな打撃を与えました。

戦後は桜川の堤が強化され、霞ヶ浦の水位調整ができるようになって、土浦の人々は洪水に悩まされることがなくなりました。

色川三郎兵衛の人物像

色川三郎兵衛は天保13(1842)年、千葉県に生まれまじした。小さい時から勉強が大好きで、何事にも興味を持つ子どもだったようです。そして25歳の時に色川家の養子になりました。

色川家は、土浦で代々続く商人の家で、祖父・色川三中から強い思いを受けつぎ、土浦の発展は、水害をなくさなければありえない。」と、堤防

を完成させたのが色川三郎兵衛でした。三郎兵衛は、そのころ計画にだつた鉄道の線路を堤防の上に敷けば、少ない費用で堤防ができると、人々に熱心に働きかけました。

ところが、土浦のまちの人々は、「土浦は舟を使った交通で栄えているまちなので、堤防をつくって川口川をさえることはできない。」と反対したのでした。

はじめはうまくいきませんが、説得を続け、その熱意が実り、明治28(1895)年11月、土を高く盛り、堤防の役目を持った常磐線の線路が、霞ヶ浦べりにでき上がりました。

しかし、三郎兵衛は満足しませんでした。それは、土浦のまちの中心を川口川が流れ、しかも、堤防を横切つて霞ヶ浦に流れていたからです。そのままでは、大雨のとき霞ヶ浦から水が逆流して、土浦のまちが水害にあつてしまいます。

そこで、三郎兵衛は、川口川堤防を横切るところに、逆流を防ぐ閘門をつけることや、桜川の川幅を広げ、川の曲りを少なくし、堤防を高くする工事を提案し訴えたので

した。

明治39(1906)年、川口の閘門はついに完成し、そのおかげで土浦のまちは水害から守られるようになりましたが、三郎兵衛は閘門ができあがる前の年に、病気でなくなつてしまいました。

今に残る色川三郎兵衛

- ・色川三郎兵衛の銅像(川口二丁目)
- ・川口川閘門(川口二丁目)
- ・色川三郎兵衛のお墓(神龍寺・文京町)
- ・色川三郎兵衛の台座(常福寺・下高津二丁目)



川口川閘門と揚水ポンプ



現在の土浦市の水害対策、防災訓練

色川三郎兵衛が亡くなって100年以上がたちます。桜川の川幅を大幅に広げる改修工事が行われ、それからは大きな被害は一度も起きていないとのことですが、土浦市や都和南小学校地区ではどんな対策をとっているのか取材しました。

・水害から身を守るためのハザードマップや防災無線の呼びかけ

・増えたポンプ場
・地域の防災訓練

9月1日は「防災の日」ですが、わが都和南小学校では、毎年11月に、学校と地域が一緒になって、防災訓練を行っています。

私たちは、地域の皆さんと一緒に訓練することを通じて、お互いに顔を覚えてコミュニケーションをとっているのが災害がおきても、助け合っただけで済むことができません。地域と学校が一つになって訓練することによって、今年で4年目をむかえます。

▼研究のまとめと感想……

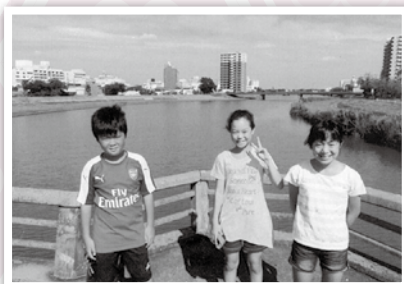
私たちは、この研究をするまで、土浦が昔これほどまで

水害の被害に悩まされていたことを知りませんでした。あらためて色川三郎兵衛の存在の大きさを知ることができました。

三郎兵衛は、霞ヶ浦の逆水問題に取り組み、盛り土した堤防の上に常磐線を行かせたり、川口川閘門を作ったりして土浦を水害から守り、とて

もすごい人だと思いました。でも、川口川閘門の完成を待たずに亡くなってしまったことを、とてもかわいそうに思いました。私たちは、色川家の財産をすべて投げ出してまで、水害のない安全な土浦のまちづくりをしてくれた色川三郎兵衛に感謝しています。私たちは、災害から身を守

るために、学校では避難訓練や地域の人たちと、防災訓練を行っています。いつ、どこで災害にあっても大丈夫なように、これからの避難情報をいつも自分で守る「自分の身は自分で守る」の精神で、落ち着いて行動できるようにしたいと思います。



三郎兵衛さん ありがとう

■最優秀賞

(敬称略)

水害のまちを救った色川三郎兵衛 ～土浦の水害の歴史と今の防災対策～	都和南小	(5年)	吉田 悠生 沖 理紗子 関 楓月
--------------------------------------	------	------	------------------------

■優秀賞

地形を生かした土浦城 ～多くの仕掛けとあらゆる戦法～	土浦小	(6年)	菊地 郁帆 木村 愛梨 栗原 佐和
-------------------------------	-----	------	-------------------------

土浦市沖宿町の歴史3 ～日本、土浦近辺の歴史に見る沖宿の歴史～	上大津東小	(6年)	山口 優一
------------------------------------	-------	------	-------

つくばりんりんロードの歴史 ～筑波鉄道から自転車道へ～	都和南小	(4年)	木澤 拓巳
--------------------------------	------	------	-------

斗利出小のまわりには歴史の宝がねむっている ～高岡丸ノ内館・土浦部城・田宮ばやし～	斗利出小	(4年)	青山 爽太 井上 蒼紫 小島 健汰 菅野 翔太 萩原 那南 萩原 祐良 久松 奏子 宮嶋 建瑠 柳田 琴音
--	------	------	---

短命に終わった「常南電気鉄道」 ～土浦にも路面電車が走っていた～	土浦一中	(2年)	皆川 武蔵
-------------------------------------	------	------	-------

■優良賞

土浦の教会ぐんとキリスト教関連いさん ～目指せ、土浦から世界いさん！～	土浦二小	(4年)	関谷 譲
--	------	------	------

土浦全国花火競技大会～たん生と歴史～	上大津東小	(5年)	鶴田 真世
--------------------	-------	------	-------

土浦の過ぎたるもの一つ関の鉄砲(関流砲術) ～関家の人たちはまじめで几帳面だったに違いない～	菅谷小	(5年)	川村 航平
---	-----	------	-------

山ノ荘の宝物「天の川」のれきし ～昔は土器が運ばれていた～	山ノ荘小	(3年)	萩原 愛珠
----------------------------------	------	------	-------

長い歴史の流鏝馬祭	土浦一中	(2年)	飯村 碧
-----------	------	------	------

■努力賞

土浦の水害について	下高津小	(5年)	松本 優菜
-----------	------	------	-------

あずまについて調べてみた	東小	(4年)	杉山 沙姫
--------------	----	------	-------

木田余城について	真鍋小	(5年)	有賀 奎太
----------	-----	------	-------

消防しょのひみつ	都和南小	(4年)	吉田 一貴
----------	------	------	-------

趣がある？土浦の旧町名	土浦一中	(2年)	宮代 和騎
-------------	------	------	-------

■学校賞／都和南小学校